学校番号	403

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｃ Advanced （東京書籍）						
副教材等	NEW ACTION LEGEND 数学 I+A （東京書籍）， NEW ACTION LEGEND 数学Ｃ （東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① はじめに

数学を学習することにおいて留意することは，単に公式や定理を暗記して問題を解くだけでなく，数学の用語・記号・公式・定理などを体系的に理解して身につけ活用することです。また数学を学習していく過程で，帰納的な考え方，演繹的な考え方など，数学特有の見方や考え方を学ぶことになります。このような見方や考え方のよさを理解し，何が本質であるかを見抜くことが大切であり，この本質をつかむと，道のいろいろな事柄にも見通しをもって対処することができるようになります。数学を通して，見通しをもち筋道を立てて考え，判断できる力を身につけるとともに，日常生活や社会生活において数学を積極的に活用することを期待します。

② 用途に合わせてノートを準備しましょう

授業用ノート：問題の解答や内容だけでなく，授業のポイントや自身で気づいたことを記入して，日々の授業の振り返りに活用しましょう

問題集用ノート：自分で解きましょう。ただ答え眺めてわかったつもりになっていても，実施に問題を解くと解けないことがあります。ノートにきちんと計算（途中式）したり，図や表を丁寧に描いたりして解くことで，考え方などを体系的に理解するために活用しましょう。各自で答え合わせをし，自分自身で本当に理解できているかどうかを確認し，自身の強みや弱点を知り，自身の力を伸ばしていくことに活用しましょう。

自主学習用ノート：自分自身で目的や疑問点や伸ばしたいの力を考え，主体的かつ積極的に家庭学習に取り組み，自身の力を伸ばすだけでなく，『教わる立場』から『深く学ぼうとする姿勢』を身につけることに活用しましょう。

③ わからない問題でもあきらめないで【難しいことに挑戦しましょう】

わからない問題にぶつかったとき，簡単にあきらめてはいけません。解けない問題を解こうする過程が大切であり，それが本当の勉強であり力を伸ばす源となります。どうしてもわからない問題があったら，遠慮せずに質問に来ましょう。絶対にそのままにしておかないことが需要であり，疑問点はその日のうちに解決していくことを心がけましょう。

④ 反復練習を行いましょう【圧倒的な反復練習から身につけられる知識やコツがあります】

既存の学習した知識を融合し，新しい知識が示されていくなど，高度な内容であるので問題を解く練習を多く積む必要があるため，授業中の演習はもちろん，家庭学習時の反復練習に力を入れることも忘れてはいけません。練習不足とならならいためにも復習は必須事項となります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル・複素数平面についての概念や原理・法則を体系的に理解している。 ベクトル・複素数平面を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付け、的確に問題を解決する力を身に付けている。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	ベクトル・複素数平面に着目し、より深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力を身に付けている。また、局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	ベクトル・複素平面の考え方に関心をもつとともに、数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　ベクトル	第1節　平面上のベクトル 1 ベクトルの意味 2 ベクトルの加法・減法・ 実数倍 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積	a:平面上のベクトルの意味について理解し，ベクトルの和，差，実数倍，平行，分解を図示したり求めたりすることができる。また,ベクトルの成分表示について理解しベクトルの内積及びその基本的な性質について理解する様々な場面に応用することができる。 b:実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算，分解，平行についての問題について、成分表示を利用して解くことができる c: 事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりして いる	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第2節 ベクトルの応用 1 位置ベクトル 2 ベクトル方程式	a: 位置ベクトル・ベクトル方程式について理解する。 b: 点の位置や図形の性質について考察することができる。また，条件を満たす点の存在範囲などについて考察することができる c: 位置ベクトルやベクトル方程式の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第3節　空間におけるベクトル 1 空間における座標 2 空間におけるベクトル 3 位置ベクトルと空間図形	a: 空間の座標について理解し,2点間の距離，座標平面に平行な平面の方程式を求めることができる。また，空間におけるベクトルの意味や演算，内積などについて，平面の場合と関連付けながら理解する b:空間ベクトルの一次独立について理解している。空間における図形や角度について空間のベクトルを用いて考察することができる c: 平面ベクトルと空間図形のベクトルについての似た性質の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

2学期	第2章 平面上の曲線	第1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線と離心率	a:放物線・楕円・双曲線の定義を理解し，方程式と図形の関係に関して理解している。2 次曲線と直線の位置関係や，接線の方程式について求めることができる。 b:軌跡の考え方を用いて 2 次曲線の方程式を一般的に表現することができる。離心率を用いて2次曲線を統一的に見ることができる。 c:方程式がどのような曲線を表すかについて，考察するよさを認識し，問題解 決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
		第2節 媒介変数表示と極座標 1 曲線の媒介変数表示 2 極座標と極方程式 3 いろいろな曲線	a:曲線が媒介変数を用いて表されることを理解し，様々な曲線を，媒介変数を用いて表すことができる。簡単な極方程式で書かれた図形について図示することができる。また，極座標の意味及び曲線が曲方程式で表される ことについて理解している b:媒介変数表示された曲線を平行移動した曲線の媒介変数表示を求めることができる。 c:複数の方法で媒介変数表示することについて興味を持ち，考察できる。コンピュータを用いて様々な式の図形の形状について興味を持ち， 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
3学期	第3章 複素平面	第1節 複素平面 1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド・モアブルの定理	a:複素数と複素数平面上の点との関係を理解し，複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数 倍，和，差，積及び商の図形的な意味を理解している。また，ド・モアブルの定理について理解している b:複素数の演算の図形的な意味を図形の考察に利用したり，複素数平面の考えを問題解決に活用したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる c:様々な性質に関心をもち，図形の問題を，複素数を用いて調べようとする。また，事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的ん論拠に基づき判断しようとしたりしている。	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

		第2節 図形への応用 1 複素数平面上の図形 2 複素数と角	a:複素数平面に図形を図示できる。また，複素数平面における角について理解する b:その図形に対して複素数の計算と結びつけることができる。 c: 図形問題を通して複素数の便利さを感じ取ることできる。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善しようとしたりしている	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出
	問題演習	数と式 2次関数 図形と計量 データの分析 場合の数と確率 整数の性質	a: その分野の公式定理が身についているか b: その分野の公式定理が応用できる c: 問題のプレゼンテーションができる	定期考査 単元確認テスト	定期考査 単元確認テスト 課題提出	課題提出

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度